

敬老祝事業

資料1

1. 本事業の目的やねらい

○高齢者に対し長寿をお祝いすることで敬老の意を表するとともに、健康で生きがいを持った暮らしへの励みとしていただく

2. R4事業内容

○88歳の方へ祝状を贈呈

○100歳の方へ祝状及び記念品(ギフトカード5,000円分)を贈呈

3. 事業費

OR4予算 1,070万円

OR5予算(案) 660万円

(参考)国や他県、県内市町村の状況

	国	他県	県内市町村
88歳	なし	2県で実施(本県を含む)	11/15市町村で実施
100歳	祝状・記念品	27県で実施(本県を含む)	全市町村で実施

4. 評価結果

- 「役割分担見直し」(国や市町村でも実施しており、県による実施は不要)と「抜本的改善」(敬老祝の一部を取り止める)が同数

5. 見直し概要

これまで	レビューでの主なご意見	見直し後	増減額
・88歳の方へ祝状を贈呈	・財源に限りがあるなか、対象者数の増加に伴い事業費もさらに増えていくので、88歳の方への祝状を廃止してはどうか	・88歳の方への祝状の贈呈を取り止める	▲640万円
—	・お祝いをする事自体を否定するのではなく、その喜びを享受できると良い	・より多くの県民が長寿をお祝いし、高齢者福祉への関心や理解が深まるよう、新たに、高齢者に対する敬意と感謝の意を表する新聞広告を掲載する	+450万円
・100歳の方へ祝状及び記念品を贈呈	・88歳という年齢が珍しくないのであれば、100歳を県がお祝いする節目としても良いのではないか	・100歳の方への祝状の贈呈を継続する(記念品の贈呈は取り止める)	▲220万円

計 ▲410万円

動物管理センター運営等関連事業

1. 本事業の目的やねらい

○開設時の殺処分施設としての役割は小さくなっていることから、犬猫の殺処分数の減少、愛護事業の充実を図り、将来的には新たな動物愛護の拠点となる施設の設置を目指す

殺処分頭数 犬 約4,900頭(S58年度)→ 1頭(R3年度)

猫 約2,900頭(H2年度) →26頭(R3年度)

2. R4事業内容【施設概要】

所在地:立山町(常願寺川公園横) 設置年:S57年

主な業務:犬猫の保護管理業務(収容、殺処分等)

犬猫の譲渡事業(犬猫の譲渡、ボランティア運営等)

動物愛護啓発事業(しつけ方教室、イベント開催等)

3. 事業費

OR4予算 1,096万円

OR5予算(案) 1,456万円

4. 評価結果

○「拡充」(施設整備が必要)

5. 見直し概要

これまで	事業レビューでの主なご意見	見直し後	増減額
殺処分を目的に設置されており、愛護事業を行うには設備や機能面が合致していない	<ul style="list-style-type: none">・動物愛護には大きな意味がある。愛護に手厚い県にして欲しい。(多数)・県として優先的な事業ではないが、実行に移すべき。・絶対新設ではなく、他の施設の活用も検討したらどうか。	<ul style="list-style-type: none">・県民ニーズ調査の実施	+275万円
	<ul style="list-style-type: none">・整備計画作成委員会やコンセプト等の具体的な計画策定を進めるべき。・NPO、愛護団体との連携を図るべき。	<ul style="list-style-type: none">・動物管理センターあり方検討会の設置	+105万円
			<ul style="list-style-type: none">・運営経費削減
		計	+360万円

「富山県推奨とやまブランド」推進事業

1. 本事業の目的やねらい

- 「富山県推奨とやまブランド」の認定・PR及びブランド力強化のための支援を通して、本県のイメージアップや地域産業の活性化を図る

2. R4事業内容

- 「富山県推奨とやまブランド育成・認定委員会」の開催
 - ・新規認定 3品目(3事業者) ※県総合計画の目標認定件数(24品目)を達成
- 「富山県推奨とやまブランド」認定品のPR
 - ・紹介冊子(R3認定の1品目)及びリーフレットの作成・配布・HPへの掲載
- 「明日のとやまブランド」育成支援事業
 - ・補助金交付事業者数 15社

3. 事業費

OR4予算	1,108万円
OR5予算(案)	923万円

4. 評価結果

○「抜本的改善」(目的・内容の整理が必要)

5. 見直し概要

これまで	レビューでの主なご意見	見直し後	増減額
<ul style="list-style-type: none">・事業目的が複数(県のイメージアップ、地域産業の活性化)・ターゲットが異なる品目をまとめてPR	<ul style="list-style-type: none">・イメージアップが目的であれば、PRに特化すべき。・横並びではなくターゲット層別にPRした方が訴求力がある。(品目が多すぎると印象に残らない)	<ul style="list-style-type: none">・総合計画の目標件数を達成し、県産品の掘り起こしがある程度進んでいることから、新規募集を停止・これまでの認定品目について、県政テレビ番組(高齢者、親子)やSNS・オウンドメディア(若年層)を活用しながら、ターゲットを意識したPRを実施	▲159万円
<ul style="list-style-type: none">・紙のリーフレットを作成・配布	<ul style="list-style-type: none">・リーフレットよりSNS(YouTube、Instagram)の方が効果があるのではないか。	<ul style="list-style-type: none">・リーフレットの印刷は廃止し、SNSを活用してPR	▲26万円

計 ▲185万円

ビジネスジェット誘致関連事業

1. 本事業の目的やねらい

○富山空港へのビジネスジェット受入れの促進

2. R4事業内容

○運航会社、運航支援会社、富裕層向け旅行会社等へのエアポートセールス

○航空政策アドバイザーの配置

○ビジネスジェット専用動線(専用待合室・CIQ(税関・出入国・検疫)カウンター)の整備への支援

3. 事業費

OR4予算 500万円

OR5予算(案) 700万円

4. 評価結果

○「一部改善」(事業の継続を前提としたうえで、費用対効果の分析が必要)

5. 見直し概要

これまで	レビューでの主なご意見	見直し後	増減額
・運航会社等への エアポートセールス	・誘致そのものは新しいビジネス機会 の創出の観点で有効 ・受益者が富裕層に限られるので 事業効果の分析を行ったうえでの実 施が望ましい。	ビジネスジェットの運航需要・ 経済波及効果などについて 調査を実施	+200万円
		計	+200万円

富山県スポーツフェスタ運営費補助金

1. 本事業の目的やねらい

- スポーツ関係団体との連携によるスポーツ人口の拡大
- 県民の多様なスポーツニーズに対応

2. R4事業内容

- 各種大会開催補助
(県民体育大会、県民スポーツ・レクリエーション祭、スポーツ少年団交流大会)
- 各種大会を4部門のカテゴリーに分け実施
(チャンピオン部門・地域対抗部門・交流部門・体験部門)

3. 事業費

OR4予算	1,127万円
OR5予算(案)	1,011万円

4. 評価結果

- 「抜本的改善」(スポーツフェスタの事業の枠組みを変える)と
 「一部改善」(スポーツフェスタの事業の枠組みは継続するが、成果指標の捉え方や補助金の基準を見直す)が同数

5. 見直し概要

これまで	レビューでの主なご意見	見直し後	増減額
・4部門の実施 チャンピオン部門 地域対抗部門 交流部門 体験部門	・本事業の参加者は元々スポーツに興味があり、スポーツ人口拡大の有効な施策になっていないのではないか	・スポーツ人口拡大効果が低い「地域対抗部門」を廃止 ※地域対抗部門：郡市対抗戦	▲9万円
—	・実施方法及び補助金を見直し、県民が身近に、手軽にできるスポーツの奨励が必要ではないか	・体験部門の実施方法の見直し(廃止) ※別に新規事業を予算化	▲107万円
計			▲116万円

富山県防災士養成事業費

1. 本事業の目的やねらい

○近年の災害が激甚化している中で、地域の「共助」の担い手として「防災士」の育成を図る

2. R4事業内容

○防災士養成研修の実施

- ・受講定員 240名
- ・開催回数 年2回
- ・受講料 市町村推薦者:1万円、それ以外:2万5千円

3. 事業費

OR4予算 565万円

OR5予算(案) 900万円

(参考)県内の防災士認定者数

○2014人(R4.3末)

10万人当たり197人と全国平均より多いが、石川県(732人)福井県(507人)より少ない

4. 評価結果

○「拡充」(受講者の負担(受講料)を減らす、定員を拡充)

5. 見直し概要

これまで	レビューでの主なご意見	見直し後	増減額
・研修回数:年2回	・老若男女、広く資格取得を進めていく必要がある	・年4回実施	+335万円
・市町村推薦者の受講料:1万円	・地域防災力の強化は重要な課題。受講しやすい環境づくり(負担金の軽減等)に取り組むべき	・発災時に市町村との連携が期待できる市町村推薦者の受講料を無料化	※受講者負担金の歳入+42万円
・受講定員:240名 (うち市町村推薦者は160名)	・老若男女、広く資格取得を進めていく必要がある	・480名に倍増 (うち市町村推薦者は360名)	
		計	+335万円

富山県ひとづくり財団高等教育振興事業費補助金

1. 本事業の目的やねらい

○県内の私立大学等が実施する教育研究活動、地域連携活動等に対する支援を通じて、魅力の向上、学生の確保、県内就職の促進等を図るもの

2. R4事業内容

○公益財団法人富山県ひとづくり財団が実施する高等教育振興事業への補助

※富山県ひとづくり財団…高等教育振興等をはじめ、各種人材事業を展開し、幅広い知見等を活かし効果的・効率的な事業を実施。

○対象事業

- ・県内大学等が実施する、地域課題解決に取り組む研究に対する助成
- ・4年制私立大学の振興のために行う事業に対する助成

3. 事業費

○R4予算 750万円

○R5予算(案) 750万円

4. 評価結果

○「抜本的改善」(補助金の内容を大幅に変更又は廃止する)

5. 見直し概要

これまで	見直し後	レビューでの主なご意見
<ul style="list-style-type: none"> ・研究助成事業(予算額:250万円) 高等教育機関に勤務する教員が行う、地域課題の解決に取り組む研究に対する助成への補助 	<p style="text-align: center;">廃止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業や地域と連携した事業に対して補助をしてはどうか。 ・大学には目標を設定させ、目標に達しない場合は補助金を減額する等、厳しい面も見せていく必要があるのではないか。 ・成果の検証には学生の視点を取り入れるべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・私立大学振興事業(予算額:500万円) (1)学生確保促進支援事業 県内の4年制私立大学が学生を確保するために行う事業に対する助成への補助 (2)大学活性化支援事業 県内の4年制私立大学が、その活性化のために行う事業に対する 	<ul style="list-style-type: none"> 私立大学等振興事業(予算額:750万円) (1)企業や地域との連携【必須】 (2)県内大学等進学促進 (3)県内就職促進 (4)学生活動促進 (5)ウェルビーイング向上【必須】 ・補助対象をメニュー化することにより、事業目的や成果の明確化を図る ・企業や地域との連携を必須化し、取組みの満足度を図る ・事業成果の目標値や「学生の満足度」を測る指標の設定を義務付けし、成果を検証することで毎年度の事業改善につなげる 	

うるおいある景観づくり推進事業

1. 本事業の目的やねらい

○県民、事業者等の景観づくりに対する意識の高揚及び景観づくりの取り組みの奨励のため、優良な事例を顕彰するとともに、情報発信するもの

2. R4事業内容

○うるおい環境とやま賞の実施

○景観づくりフォーラムの実施

3. 事業費

OR4予算 318万円

OR5予算(案) 320万円

(参考) 国や県内市町村の状況

R4年度	国	県内市町村
景観賞の実施	あり(都市景観大賞)	なし

4. 評価結果

○「抜本的改善」(賞の募集、フォーラムの実施、パンフレットの作成の中から1つやめる。)

5. 見直し概要

これまで	レビューでの主なご意見	見直し後	増減額
・景観づくりフォーラムの実施	・参加者は、関係者が圧倒的に多いので、県民の方全体を巻き込む仕組みにした方がよい	・フォーラムを取り止め、SNSを活用(内容は次項)	▲70万円
・賞の応募方法は、郵送、メール又は持参	・SNSで応募を受け付け、選定してはどうか ・観光資源としても、もっとアピールすればよい	・SNSによる応募方法及び情報発信・PR	+72万円
・顕彰区分(①建築物等②生活環境、自然③個人、団体の活動)	・活動をフォローし、景観を維持しているところにフォーカスを当てるべき	・①景観保全②景観創出③景観フォトとし、いずれも景観の名称を付すこととした	—

計 +2万円